

きくがわ きくがわ 菊川水系菊川の河川改修による内水被害防止

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要 要：令和6年8月台風第10号に伴う大雨では72mm/hの強い降雨を観測したが、河道掘削等により約1.3m水位を低減させられたため、七曲樋門(河口から5.5km付近)の全閉操作を回避し内水被害発生を未然に防いだ。

対策名：1-1 流域治水対策(河川) <5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体：国土交通省中部地方整備局
- 実施場所：静岡県菊川市、掛川市
- 事業概要：築堤、河道掘削 等
- 事業費：約182億円(平成28年～令和6年継続中)

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
河川改修事業	河道掘削、築堤	約182億円	H28～R6(継続中)
うち3か年緊急対策	河道掘削(V=約7万m ³)	約7億円	H30～R2
うち5か年加速化対策(加速化・深化分)	河道掘削(V=約8万m ³)	約13億円	R2～R5

河道掘削による流下能力の向上【菊川(河口から5.4km)施工状況】

事業実施前



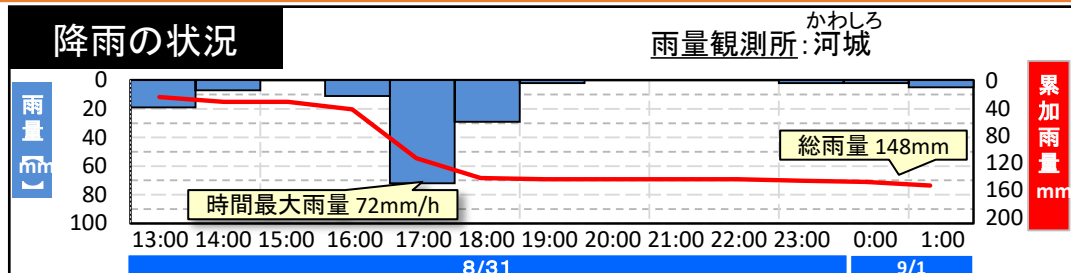
事業実施後



河道掘削

樋門の全閉操作が行われた場合、水位が上昇した菊川からの水の逆流を防ぐことができるものの、堤内の水を樋門から河川に排出できず、内水被害の危険性が生じる。

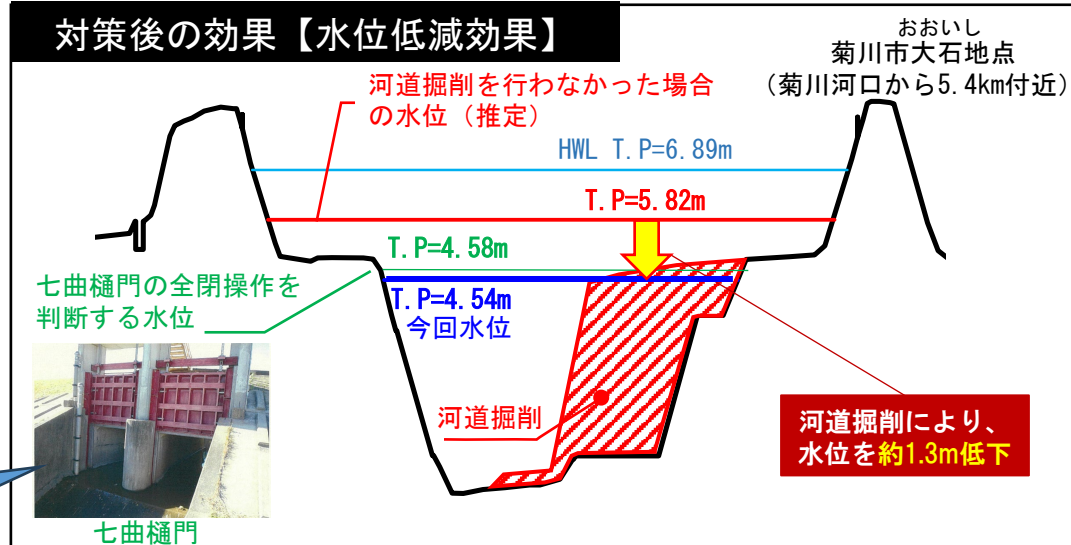
降雨の状況



出水状況【額田地点(河口から4.6km)付近】



対策後の効果【水位低減効果】



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。